

「子育て王国そうじゃ」をめざして

平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」が始まります。消費税の増税分をこれまで手薄であった子育て支援に使おう、基礎自治体である市町村が幼保一体化をはじめとする多様なメニューの中から地域の実情に応じた子育て支援を行おうという制度です。



総社市でも、平成20年度から平成24年度までの間に保育所を3園増設し、一時的に待機児童が解消されました。しかしながら、平成26年10月時点では、待機児童を含め希望の園に入れない児童が、60人以上もあり、子育て王国を称しながらこうした状況であることに忸怩たる思いを抱いております。また、幼稚園が旧村単位で公立園が設置されているものの、保育を必要とする児童には学校教育の機会が保障されていない、人口が減ってきている地域では幼稚園においても学校教育に十分な集団が確保できていない、という課題もあります。

昨年5月には日本創成会議という団体が2040年には市町村の大半が消滅の可能性を持っているという衝撃的なレポートを公表しました。全国的な少子化、そして人口減少は確実に進むでしょう。今の保育所、幼稚園、子育て支援の体制は10年、20年先に向けて対応できる体制であるとは必ずしも言えません。

総社市が、これからも多くの子どもたちが生まれ、そして健やかに育っていく街であり続けるためには子どもの目線に立って「すべての子どもに保育及び学校教育の機会の保障が与えられるまち」、「子育て世帯が保育に不安を感じることなく人生の自己決定を行えるまち」を実現しなければなりません。

このプランは、以上の認識に基づき、総社市における今後の未就学児童に対する保育、学校教育及びすべての子どもに対する子育て支援の方向性を示したものです。総社市としては本プランに則り、すべての子どもの最善の利益を価値基準として、「子育て王国そうじゃ」の名に恥じることのない、まち全体で子ども・子育てを支え合う環境を整え、そのための施策を推進していくことといたします。

平成27年3月

総社市長 尾呂裕一

目 次

はじめに

1 計画策定の趣旨	2
2 計画の性格・位置づけ	3
3 計画の期間	4
4 策定の方法	4

第1章 計画の基本理念と方向性

1 基本理念	8
2 計画の基本目標	9
3 幼児期の学校教育・保育提供区域の設定	10
4 計画の体系	11

第2章 総社市の子どもを取り巻く現状

1 人口構成及び子どもの人口の増減	14
2 家庭の状況	16
3 人口の将来推計	20
4 女性の就業状況	21
5 保育所及び幼稚園の状況	22
6 地域子ども・子育て支援事業の状況	24
7 子ども・子育て支援ニーズ調査の結果	27
8 現状分析のまとめ	29

第3章 次世代育成支援行動計画（後期計画）の評価

評価方法	32
基本目標1 地域における子育ての支援	33
基本目標2 支援が必要な子ども等への支援	41
基本目標3 子どもや母親の健康の確保	45
基本目標4 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備	50
基本目標5 子育てを支援する生活環境の整備	54
基本目標6 職業生活と家庭生活との両立の支援	55
基本目標7 子どもの安全の確保	56

第4章 基本施策と取組

基本目標 1	就学前の学校教育・保育の提供体制を充実させる	60
基本目標 2	地域における子ども・子育て支援を充実させる	62
基本目標 3	困難を抱える子ども・家庭を支援する	69
基本目標 4	子どもと保護者の健康支援を充実させる	76
基本目標 5	ワーク・ライフ・バランスを推進する	81
基本目標 6	次代を担う子どもの生きる力を育む	83
計画の目標指標		85

第5章 量の見込みと確保方策

1	幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策	88
2	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	90

第6章 計画の推進

1	推進体制	100
2	計画推進に向けた地域との協働体制の構築	100
3	計画推進の方向性	100

資料

1	アンケート結果（抜粋）	104
2	総社市子ども・子育て会議条例	113
3	総社市子ども・子育て会議の運営に関する規則	114
4	総社市子ども・子育て会議委員名簿	115
5	策定経過	116
6	用語説明	117